

ステンレス鋼用TIG溶接棒

銘柄	該当規格 JIS AWS	端面 色別	特性 および 用途	溶接棒の化学成分一例 (%)										溶着金属の機械的性質一例				製造寸法 (mm)
				C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	Mo	引張強さ (MPa)	0.2%耐力 (MPa)	伸び %				
KS-316R	YS316	白	18%Cr-12%Ni-2%Mo 適量のフェライトを含むオーステナイト系ステンレス鋼。溶接性が良好で、Moを含むため、耐熱、耐食性および高温における機械的性質に優れています。 SUS316の溶接。硬化肉盛溶接の下盛。	≤0.06	0.30 }	1.50 }	≤0.028	≤0.020	11.00 }	18.50 }	2.10 }			570	409	42	1.0 4.0	
	ER316																	
KS-316LR	YS316L	緑 (緑)	極低炭素18%Cr-12%Ni-2Mo 適量のフェライトを含むオーステナイト系ステンレス鋼で、溶接のままで耐粒界腐食性が良好です。 KS-316ELRは炭素含有量を0.020%以下に厳選しています。 (炭素量が0.010%以下のKS-316ULRもあります) SUS316Lの溶接。	≤0.030	0.30 }	1.50 }	≤0.028	≤0.020	11.00 }	18.50 }	2.10 }			555	412	43	0.8 5.0	
KS-316ELR (KS-316URL)	ER316L																	
KS-317LR	YS317L	栗	低炭素18%Cr-12%Ni-3Mo 適量のフェライトを含むオーステナイト系ステンレス鋼。 通常の316Lより、Mo含有量が高く、硫酸やリン酸など非酸化性酸に対する耐食性と耐熱性がさらに優れています。 耐粒界腐食性も良好です。 SUS317、SUS317Lの溶接。	≤0.03	0.30 }	1.50 }	≤0.028	≤0.020	13.00 }	18.50 }	3.00 }			573	410	39	1.2 1.6 2.0 2.4 3.2	
	ER317L																	
KS-320LR	YS320LR	-	低炭素20%Cr-34%Ni-2%Mo-3%Cu-Nbの完全オーステナイト組織のステンレス鋼。硝酸など酸化性酸および硫酸やリン酸など非酸化性酸の両方に対する耐食性が極めて優れ、また耐粒界腐食性や耐孔食性も良好です。高温ワレが発生し易いため、できるだけ低電流で溶接し、母材の過熱を避けてください。 カーバンター20、カーバンター20Cbの溶接。	≤0.025	≤0.15	1.50 }	≤0.015	≤0.020	32.00 }	19.00 }	2.00 }	Cu 3.00 ~4.00		610	455	41	1.6 2.0 2.4 3.2	
	ER320LR												Nb 8×C ~0.40					
KS-329J3LR	YS2209 ER2209	赤	オーステナイト+フェライトの二相組織のステンレス鋼で、耐応力腐食ワレに強く、耐海水性や耐孔食性に優れています。 KS-329J3LRは低炭素22%Cr-8%Ni-3%Mo-N系二相ステンレス鋼。	≤0.03	≤0.90	0.50 }	≤0.03	≤0.03	7.50 }	21.5 }	2.50 }	Cu ≤0.75	N 0.08 }	760	590	35	1.6 3.2	
KS-329J4LR	YS329J4L ER2594	朱	KS-329J4LRは低炭素25%Cr-9%Ni-4%Mo-N系のスーパー二相ステンレス鋼。 SUS329J1、329J3L、329J4Lの溶接。	≤0.03	≤0.90	0.50 }	≤0.03	≤0.02	8.00 }	24.0 }	3.00 }	Cu ≤1.00	N 0.20 }	820	640	32	1.2 3.2	